2019年度 島田ＹＥＧ かわらばん

発行　島田商工会議所青年部

2019年度スローガン「感謝の気持ちで新時代を切り開こう」
～ありがとうから生まれる信頼と絆～

【第３２回通常会員総会】

平成３１年４月２２日に開催され、平成３１年度がスタートいたしました。５月の改元後、平成３１年度から２０１９年度に変更になる特別な年となりました。

【６月例会・研修会】

一般社団法人日本褒め言葉カード協会より講師をお招きし「ありがとうから生まれる信頼と絆研修」～一人ひとりが信頼され愛される人になる行動習慣を身に付けよう～をテーマに、具体的に実践できる方法を学ぶことを目的とした笑顔あふれる研修会を実施いたしました。

【島田ＹＥＧ交流Ｇ．Ｇ．大会及び交流Ｂ．Ｇ．Ｐ．】

昨年、ご好評いただきました青年部主催の「島田ＹＥＧ交流Ｇ.Ｇ.大会及びＢ.Ｇ.Ｐ.」を本年度も開催。本事業は、島田の域活性化に貢献する団体としての団結力を高め、地域から信頼され愛される組織づくりの一助となることを目的に執り行われました。島田市で盛んに行われているグラウンドゴルフを通じ、親会及び女性部との交流・親睦を図り、会員(仲間)を知る機会となりました。

【みらぷろ第６回模擬面接】

適切な対話スキル・傾聴スキルを養い、良い人材を確保するための知識を深めることを目的とし、就職試験を控えた高校生を対象に模擬面接を開催。本年度初の試みとし、商工会議所会館に加え、当メンバー企業の社屋も会場として使用しました。２会場で模擬面接を行うことにより、例年より多くの生徒を受け入れることが可能となりました。

地元市民や全国のＹＥＧメンバーに向けて、新聞やテレビ、翔生等で紹介されるなど、島田ＹＥＧの活動をＰＲすることが出来ました。

【８月例会】

令和２年２月開催の日本商工会議所青年部「第３９回全国大会ふじのくに静岡ぬまづ大会」島田分科会に向け、「知っているようで知らない島田のコト」をテーマに、(株)フジドリームエアラインズ運航乗員部藤田智彦氏・大井川鐵道(株)鉄道部坂下裕之氏をお招きし、研修会を開催。

お二人からは、普段聞くことの出来ないウラ話や、ＳＬの歴史などをお話していただきました。ここで得た知識は、島田分科会当日、大いに役立てることが出来ました。

【第６２回島田髷まつり ボランティア事業】

島田３大祭りのひとつである島田髷まつり。今年度は３年ぶりの晴天には恵まれ、９月の残暑の中、髷道中の警護を務めました。

６０年以上も続く伝統ある祭りに参加する事で、その歴史を文化を肌で感じると共に、３０種類以上の日本髪を結った髷娘とらんの姿を間近で見る貴重な体験でした。

【日本ＹＥＧ事業 島田ＹＥＧと意見交換（単会訪問）】

毎年行われている日本ＹＥＧ会長による単会訪問。本年度は、日本ＹＥＧ田中会長に島田ＹＥＧをご訪問いただきました。田中会長とは、島田ＹＥＧ事業の成果や報告、地域活性化についての意見交換を行い、会員増強への取り組みについてもアドバイスをいただきました。

その後、日本ＹＥＧの方々と交流会を行い、親睦を深めることが出来ました。翔生への掲載記事はこちらをご覧ください https://yeg.jp/2019/101801.html

【中部４ＹＥＧ交流会】

本年度は「模型の世界首都静岡市」をテーマに、静岡ＹＥＧ主管により開催。自作したミニ四駆によるレースを行い、各部門の優勝者には景品が配られました。ミニ四駆作りに没頭するメンバーの意外な一面が見られました。また、参加者全員でのレースでは、真剣なまなざしでミニ四駆が走る様を見つめ一喜一憂し、その後の懇親会では大変な盛り上がりをみせ、他単会メンバーとの交流を深めることが出来ました。

【島田の新しい風会議
～感謝と信頼の気持ちで繋がろう～】

今年度で第３回目を迎えた島田の新しい風会議。当日は若手の国家公務員７名、島田市職員４名にご参加いただきました。休日返上でご参加いただき、私たち島田の経済人との意見交換の場を盛り上げていただきました。互いに抱える問題点を話し合うことで共通認識を持つことができ、大変有意義な時間となりました。

【第３６回関東ブロック大会
茨城ひたちなか大会】

島田ＹＥＧからは８名で参加しました。関東ブロックとしての方向性を確認すると共に、関東ブロックの仲間との再会・交流ができました。分科会へは、全国大会で分科会を行う側としての視点で参加し、おもてなしの細部を学ぶ良い機会となりました。

【しまだ大井川マラソン
inリバティおもてなし広場
「しま旨っ！」出店事業】

全国のランナーからも支持されている「しまだ大井川マラソンinリバティ」に、昨年大好評だったジェラートの提供、さらに山田町の物産販売を加え、地域振興に繋がる活動を行いました。また、女性部との交流を目的に「島田さくらめし」のおにぎり作りを一緒に行い、大エイドにてランナーに提供するお手伝いをさせていただきました。

【第５回静岡県ＹＥＧ野球大会】

県内のＹＥＧメンバ１２００名以上が集う大会を、今年度は浜松ＹＥＧ主管のもと、１１月１０日和地山公園にて行われました。今年は県連チーム（各単会メンバー合同）を発足。千葉県連チームの参加もあり、野球ツールを使い交流を深めることが出来ました。今年「も」島田ＹＥＧは３位…。そろそろ優勝旗持ち帰りたい…（汗）

【第３３回通常会員総会・
１２月例会・忘年会】

本総会では、次年度の会長及び役員の方々の承認がされました。忘年会では委員会対抗借り物？競争。回答パネラーには大久保会頭にもご協力いただき、メンバー同士の知らない一面を知ることができました。ご参加いただきましたＯＢ・ＯＧ・女性部の皆様にも感謝いたします。

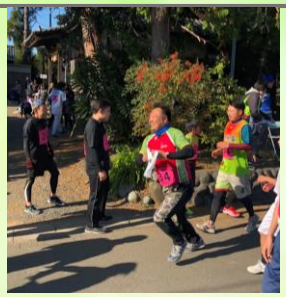
【第６回島田ＹＥＧみらぷろ杯
Ｕ－９フットサル】

小学校低学年を対象に、技術の向上だけではなくフェアプレー、リスペクトの精神に則り、礼儀正しく健全な精神の育成を目的として開催。今年度は吉田町から住吉小のチームも参加。１試合１試合に真剣に取り組み、勝敗の結果に一喜一憂をする子供たちから多くの感動をいただきました。

【島田３青年団体協働事業】

島田商工会議所青年部・島田青年会議所・島田市商工会青年部の３青年団体が三位一体となり、島田市をより盛り上げていくため、今年度は島田市商工会青年部企画により、各団体から２チームが初倉駅伝に参加、日頃の運動不足の中、必死に襷を繋げました。その後会場を移し、商工会青年部の取り組む「ジュニエコ」の表彰式にオブザーバー参加させていただきました。

懇親会では、三青年団体とも「島田を盛り上げよう」という想いが同じである事を確認しました。



【藤枝ＹＥＧ・島田ＹＥＧ
合同新年会】

今年度初めての取り組みとなった藤枝ＹＥＧとの合同事業。月１の協議の場を重ね、当日は島田ＹＥＧから３５名もの参加があり、盛大に行うことができました。企画・運営に中心となってくださった政策委員会の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

【2月例会・研修会】

三島ＹＥＧメンバーの服部織江様をお招きし、「あなたのコミュニケーションは大丈夫ですか？～より良い人間関係のために～」と題し、愛される人となる基礎を学びました。今後の自企業での対従業員・顧客・ご家族との関係をより良くするために大いに役立つ研修会でした。

←平成29年度に島田工業高校生徒との共同制作「木製フォトフレーム」が、平成元年度第12回静岡県景観賞 奨励賞をいただきました。

【島田さくらめし普及事業】

島田樟誠高等学校のご協力のもと、新たな門出を祝福するため、卒業生に島田さくらめしを配布。当日は新型コロナウイルス感染拡大防止で国を挙げての自粛ムードの中、学校側の熱い思いと、親会の後押しのおかげで、リスクを最小限に抑える形を取り実施に至ったことは、島田ＹＥＧとして良い経験となりました。

【みらぷろ　高校生事業】

今年度も島田樟誠高校・川根高校・島田工業高校の３校で実施しました。私たちには、事前に準備を進める事・人前で話す事の経験が自己研鑽に繋がり、学校側には、生徒たちが今後の進路の参考となる、双方にとってメリットのある事業でした。

今年度は厚木ＹＥＧの方々が、新規事業の参考にとオブザーバー参加してくださいました。

【卒会式】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止となりましたが、各委員会にて卒会生を送り出していただきました。卒会生の皆様、おめでとうございます！

本当にありがとうございました。大変お世話になりました。これからも我々青年部にお力添えをよろしくお願いいたします！

卒会者：大石俊行君・河原崎茂則君・孫哲浩君・冨岡寿浩君・名取稔文君・橋本慶弘君

ありがとうございました。

【第３９回日本ＹＥＧ全国大会ふじのくに静岡ぬまづ大会】

〈島田分科会〉

全国から６７名のＹＥＧメンバーが島田にお越しくださいました。分科会特別委員会を中心とした企画内容に、各位委員会がおもてなしを工夫し実施。来島者からはもちろん、全国のＹＥＧメンバーより多くの称賛をいただける分科会を行えたことは、島田ＹＥＧにとって新たな歴史のページを刻むことが出来ました。

《全国大会ふじのくに静岡ぬまづ大会》

全国大会を間近で体感できることは今年度だけ。その体験を島田ＹＥＧメンバー全員に味わっていただくように努めました。静岡県連とし、沼津の大会地では全国から集まるＹＥＧメンバーのおもてなし（ビジネス分科会、政策提言ＥＸＰＯ、大懇親会のドリンク配布、記念事業の警備等々）も皆さんにご協力いただいたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。島田の中で初参加してくれたメンバーから「ＹＥＧって凄いんですね！」「良い経験させてもらいました」「来年も参加したくなった」と声が上がったことは大変嬉しかったです。この経験を島田の活動に生かして欲しいと思いました。